

腎シリーズ！

～腎臓が悪くなる原因について～

前回の3月号では腎臓の働きについてご紹介しました。

今回は腎臓の働きができなくなることがどうして起こるのか、腎臓が悪くなる原因について、また、自分の腎臓の働きを知るための検査についてもご紹介します。

ちょっとその前に☆

腎臓の働きについて確認していきましょー

腎臓の働きには、血液をろ過し、体内で生じた不要物や老廃物を尿として排泄し、体にいるものは再吸収し血液をきれいに保っています。血液をろ過するとき、腎臓の糸球体という毛細血管がフィルター役をし、体にいるものといらないものをこす機能をしています。

腎臓の働きが出来なくなるのはなぜ？

腎臓病の多くは、機能が低下し続ける進行性の病気です。腎臓病には「①腎臓そのものが原因の場合」と「②全身の異常が原因の場合」があります。

腎臓そのものが原因の病気では、多発性のう胞腎、先天的な腎臓の奇形、急性腎不全、急性糸球体腎炎、慢性糸球体腎炎、IgA腎症、腎腫瘍、ネフローゼ症候群などです。

「おしっこをするときに痛くて、病院で石があると言われた」と、住民の方から聞くことがあります。この石と言われるのが「尿結石」です。石（尿結石）ができる場所により病名が変わります。腎臓でできたら腎結石、尿管でできたら尿管結石と言います。この結石でも腎臓

を傷める原因になります。

女性に多い膀胱炎ですが、膀胱炎を繰り返す方や菌が腎臓まで行ったことで起こる腎盂腎炎も腎臓を痛めます。

また、全身の異常が原因となる病気が腎臓を傷めることがあります。例えば、高血糖、高血圧、高尿酸、妊娠高血圧症候群などがあります。

他にも喫煙や前立腺肥大や扁桃腺炎なども腎機能を低下させる原因になります。また、病気を治すために使う薬が腎臓を傷めていることもあります。

皆さんも、ご存じのメタボリックシンドロームも腎臓を傷める原因です。では、なぜメタボリックシンドロームが腎臓を傷める原因になるのでしょうか……。

